

委託事業実施内容報告書
平成 27 年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム（B）】

実 施 内 容 報 告 書

受託団体名：特定非営利活動法人にほんご豊岡あいうえお

1. 事業名称

・多文化共生のまちづくり「あいうえお子育てネット」

2. 事業の目的

・豊岡市及び但馬で子育てをしている外国にルーツを持つ母親と子どもの日本語教育を支援し、行政や地域と連携して支える体制を作る。

取組み 1:日本の学校生活において、親子間や先生、まわりの保護者などとのコミュニケーションがスムーズにいくようにする。

取組み 2:支援者と母親をつなぐネットワークを作る。

取組み 3:地域のひとや支援者側に多文化共生についての理解を深めてもらい、よりよい関係を作る。

取組み 4:母親と子どもの入学後の学校生活をスムーズにし、文化の違いによる問題を防ぐ。

3. 事業内容の概要

- 1.学校からの手紙を読んだり、年間行事の主な内容や学校での親の役割などについて学び、理解を深める。具体的な場面を想定して会話の練習をする。
- 2.支援者や行政、地域の人と、実際に子育てをしている外国にルーツを持つ母親を交え、子育てネットのすすめ方について話し合う。子育てに必要な資料を多言語化し、必要なところに配布する。
- 3.講演会を開催し、支援者や地域の人が多文化共生についてより理解を深め、外国にルーツを持つ人との円滑なコミュニケーションがとれるようにする。
- 4.教育委員会や学校職員と連携し、外国にルーツを持つ母親のための就学前説明会を開催する。

4. 事業の実施体制について

<取組み 1> コーディネーター:岸田尚子(日本語教室の企画・マッチング)

日本語指導 :河本美代子、勝間良枝、卯野敦子他

情報提供及び共有:豊岡市こども教育課、豊岡市こども育成課、豊岡市健康増進課、豊岡市秘書広報課

<取組み 2> コーディネーター:岸田尚子

会議出席:豊岡市こども育成課、豊岡市こども教育課、豊岡市健康増進課、豊岡市秘書広報課、河本美代子、勝間良枝、卯野敦子

翻訳資料提供:豊岡病院、豊岡市健康増進課

<取組み 3> コーディネーター:岸田尚子、河本美代子(企画、調整業務)

補助者:勝間良枝、卯野敦子、菅村規子、立川旬司、近藤厚子

「日本語でつたえるコツ」ワークショップ講師:公益財団法人大阪ボランティア協会「日本語でつ

たえるコツ」広げる委員会委員

多文化共生セミナー講師：田村太郎(特定非営利活動法人多文化共生センター大阪代表理事)

多文化共生セミナー共催：豊岡市秘書広報課

講演会の周知：豊岡市こども教育課、豊岡市こども育成課、豊岡市健康増進課、朝来市連 国際交流協会あさご日本語教室、養父市国際交流協会やぶ日本語教室、京丹後市国際交流協 Kia 日本語教室、たじま多文化共生ネットワーク

< 取組み 4 > コーディネーター：岸田尚子、河本美代子(企画、調整業務)

指導者：菅村規子

補助者：渡辺スーザン、小松優香、勝間良枝、卯野敦子、立川旬司、近藤厚子、河本美代子

情報提供、器材貸出：豊岡市教育委員会

情報提供及び共有、周知：豊岡市秘書広報課、豊岡市健康増進課、朝来市連合国際交流協会あさご日本語教室、養父市国際交流協会やぶ日本語教室、京丹後市国際交流協会 Kia 日本語教室、たじま多文化共生ネットワーク

翻訳資料提供：豊岡市秘書広報課、豊岡市立小野小学校

5. 運営委員会の開催について

【運営委員】

1	河本美代子	特定非営利活動法人にほんご豊岡あいうえお
2	岸田 尚子	特定非営利活動法人にほんご豊岡あいうえお
3	勝間 良枝	特定非営利活動法人にほんご豊岡あいうえお
4	卯野 敦子	特定非営利活動法人にほんご豊岡あいうえお
5	森山 健二	豊岡市教育委員会こども教育課
6	富山 佐智恵	豊岡市教育委員会こども育成課
7	三上 尚美	豊岡市健康増進課
8	渡辺スーザン	子ども多文化共生サポーター(タガログ語)
9	周 海春	子ども多文化共生サポーター(中国語)
10		

【概要】

回	開講日時	時間数	場所	出席者	議題及び検討内容
1	平成 27 年 4 月 23 日(木) 13:30-15:30	2 時間	あいうえお 事務所	河本美代子 岸田尚子 勝間良枝 卯野敦子 富山佐智恵 森山健二 三上尚美 松本幹夫 渡辺スーザン 周海春	・運営委員自己紹介 ・取組み1 日本語教室の周知方法について検討 ・取組み2 子育てネット推進の進め方、翻訳資料 内容の検討 ・取組み3 日程調整、セミナーの内容検討 ・取組み4 日程調整、就学説明会内容検討
2	平成 27 年 9 月 29 日(火) 13:30-15:30	2 時間	あいうえお 事務所	河本美代子 岸田尚子 勝間良枝 森山健二	・取組み1 日本語教室への参加周知方法について検討 ・取組み2 翻訳の進捗状況、ポスター及びチラシ の配布方法について検討

				戸田早苗	・取組み3 ワークショップ、セミナーのポスター・チラシの配布先、周知方法について検討 ・取組み4 就学前説明会の実施時期、内容、周知方法、募集方法、説明会の翻訳資料等について検討。外国にルーツを持つ子どもの様子について情報共有
3	平成 27 年 3 月 4 日(金) 13:30-15:30	2 時間	あいうえお 事務所	河本美代子 岸田尚子 勝間良枝 卯野敦子 富山佐智恵 三上尚美 松本幹夫 渡辺スーザン	・平成 27 年度多文化共生のまちづくり「あいうえお子育てネット」取組み1、取組み2、取組み3、取組み4について成果報告(成果物、目標達成状況、今後の改善点) ・平成 28 年度多文化共生のまちづくり「あいうえお子育てネット」の協力依頼及び事業内容の説明

6. 取組についての報告

取組1:子育てや学校の言葉を学ぶ日本語教室

(1) 体制整備に向けた取組の目標

・日本での子育ての疑問や不安、ストレスを軽減し、楽しく子育てに取り組めるようにする。日本語による学校とのやり取りがうまくいき、子どもの学校生活がスムーズになるとともに、教室を教育委員会や自治体に公開し、日本語教育に対する理解を広める。

(2) 取組内容

・主に場面シラバスを活用して、実際に子どもを持つ母親が遭遇するような場面を想定した日本語の会話練習を行った。『生活者としての外国人に対する標準的なカリキュラム案』などを活用し、基本的なことから実生活に即したことまで、日本語のレベルが違って、皆で一緒に協力して学べる内容にした。また、学校より配布される手紙等を読んで、自分でだいたいの意味が理解できるように、語彙や表現、手紙のパターンなどを学んだ。学校行事や文化についても理解を深めた。

(3) 対象者

・外国にルーツをもつ母親

(4) 参加者の総数 10 人 延べ人数ではなく、参加した人数を記載

そのうちの日本語学習者数 10 人

【出身・国籍別内訳】

中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	インドネシア	タイ	ペルー	フィリピン	日本
2			3			3		2	

その他の国籍と人数:アメリカ 1

(5) 開催時間数(回数)

・ 88 時間 (2 時間 × 全 44 回)

(6) 活動の内容

回	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成 27 年 4 月 15 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえお教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・学校の手紙「八条っ子の約束」「保健調査票記入について」	河本美代子	勝間良枝

2	平成 27 年 4 月 22 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・学校の手紙「尿、ギョウチュウ検査のお知らせ」	河本美代子	勝間良枝
3	平成 27 年 4 月 29 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・学校の手紙「歯科健診・眼科健診のお知らせ」	河本美代子	勝間良枝
4	平成 27 年 5 月 13 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・豊岡市プレミアム商品券について	河本美代子	勝間良枝
5	平成 27 年 5 月 20 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	7 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・交流会ランチ	河本美代子	勝間良枝
6	平成 27 年 5 月 27 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・文法学習 学校の手紙「6 月の行事予定」	河本美代子	勝間良枝
7	平成 27 年 6 月 3 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・文法学習 ・自転車の新ルールについて	河本美代子	
8	平成 27 年 6 月 10 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・文法学習	河本美代子	
9	平成 27 年 6 月 17 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・お弁当のレシピ ・お弁当作り 実演	河本美代子	
10	平成 27 年 6 月 24 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・文法学習 ・学校の手紙「熊の目撃情報」	河本美代子	
11	平成 27 年 7 月 1 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・学校の手紙「家庭学習と生活に関するアンケート」 ・文化庁テキスト(08)物品購入、サービスを利用する	河本美代子	
12	平成 27 年 7 月 8 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・学校の手紙「いかのおすし」「家庭学習について」 ・新聞記事「自転車のルール」	河本美代子	卯野敦子
13	平成 27 年 7 月 15 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・学校の手紙「夏休みのお知らせ」「学年通信」 ・七夕飾り作成	河本美代子	
14	平成 27 年 7 月 22 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	6 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・学校の手紙「台風接近のお知らせ」	河本美代子	
15	平成 27 年 7 月 29 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	6 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・文法学習	河本美代子	卯野敦子
16	平成 27 年 8 月 5 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	6 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・文化庁テキスト(08)物品購入、サービスを利用する	河本美代子	

17	平成 27 年 8 月 12 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・文化庁テキスト(08)物品購入、サービスを利用する	河本美代子	勝間良枝
18	平成 27 年 8 月 19 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・文化庁テキスト(08)物品購入、サービスを利用する	河本美代子	勝間良枝
19	平成 27 年 8 月 26 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・文法学習	河本美代子	勝間良枝
20	平成 27 年 9 月 2 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・学校の手紙「熱中症の予防について」	河本美代子	勝間良枝
21	平成 27 年 9 月 9 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・学校の手紙「運動会のお知らせ」	河本美代子	
22	平成 27 年 9 月 16 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・文化庁テキスト(08)物品購入、サービスを利用する	河本美代子	勝間良枝
23	平成 27 年 9 月 23 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・学校の手紙「マラソン大会健康調査」	河本美代子	
24	平成 27 年 9 月 30 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・文化庁テキスト(35)地域社会に参加する	河本美代子	
25	平成 27 年 10 月 7 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・文化庁テキスト(35)地域社会に参加する	河本美代子	
26	平成 27 年 10 月 14 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	6 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・学校の手紙「保健便り」 ・文化庁テキスト(35)地域社会に参加する	河本美代子	卯野敦子
27	平成 27 年 10 月 21 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・学校の手紙「人権 SOS」 「オープンスクールの案内」	河本美代子	卯野敦子
28	平成 27 年 10 月 28 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・学校の手紙「生活に関するアンケート」 ・文化庁テキスト(35)地域社会に参加する	河本美代子	
29	平成 27 年 11 月 4 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・学校の手紙「給食の献立表」	河本美代子	
30	平成 27 年 11 月 11 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・学校の手紙「給食の献立表」 ・年賀状の書き方	河本美代子	

31	平成 27 年 11 月 18 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・新聞記事「多文化共生セミナー」	河本美代子	
32	平成 27 年 11 月 25 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・おせちの話	河本美代子	
33	平成 27 年 12 月 2 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・学校の手紙「こども園給食便り」 ・子ども支援センターの話	河本美代子	卯野敦子
34	平成 27 年 12 月 9 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・ガソリンスタンドのチラシ ・おせちの話	河本美代子	卯野敦子
35	平成 27 年 12 月 16 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・今年の漢字 ・流行語大賞	河本美代子	
36	平成 28 年 1 月 13 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・書初め	河本美代子	勝間良枝
37	平成 28 年 1 月 20 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・学校の手紙「食育だより」	河本美代子	勝間良枝
38	平成 28 年 1 月 27 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・節分について	河本美代子	勝間良枝
39	平成 28 年 2 月 3 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・文法学習 ・学校の手紙「インフルエンザ」	河本美代子	勝間良枝
40	平成 28 年 2 月 10 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・文法学習	河本美代子	勝間良枝
41	平成 28 年 2 月 17 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・学校の手紙「インターネットの使い方について」	河本美代子	勝間良枝
42	平成 28 年 2 月 24 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・折り紙	河本美代子	勝間良枝
43	平成 28 年 3 月 9 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・文法学習	河本美代子	
44	平成 28 年 3 月 16 日(水) 10:00-12:00	2 時間	あいうえ お教室	5 人	・日本語中級 ・学校について学ぶ	・N2 漢字学習 ・ごみの新ルールについて	河本美代子	

●特徴的な活動風景

【第 5 回 平成 27 年 5 月 20 日】

写真 N2 漢字テキストで新しい漢字を学習。

写真 母親クラスの持ち寄りランチ。



▲写真



▲写真

【第13回 平成27年7月15日】

- ・ N2 漢字テキストで新しい漢字を学習。
- ・ 学校の手紙「夏休みのお知らせ」「学年通信」を読み、漢字の読み方や単語、意味を勉強。
- ・ 七夕飾り作成。
- ・ 短冊に日本語で願い事を書く。
- ・ 折り紙の折り方の説明を理解し、折る。



(8) 目標の達成状況・成果

- 子どもの学校行事に合わせ、七夕の折り紙、かわいい弁当の作り方、書初めなどを体験した。懇談会の場面を想定し、会話の練習などを行った。また、オープンスクールの意味を学習した。実際に子どもがやっていることを体験することによって、理解が深まった。
- 読み物の教材として、実際に使われている学校の手紙や配布物を利用した。できるだけ新しいものを使うようにし、手紙を読むことを通じて、学校でどんなことをしているのか、流行っている病気は何か、次はどんな行事があるのかなど、タイムリーな情報を得ることができた。「子どもたちの学校生活の様子がわかる」と、学習者はとても喜んでた。
- 学校の手紙以外にも、新聞記事や夏休みの子ども向けのイベントの案内、プレミアム商品券についても取り入れ、実生活で役に立つバラエティに富んだ内容にした。地域から発信される情報を得て、実際に生活に役立てることができた。
- 毎週続けることで、手紙や文を読むことにも抵抗がなくなり、自分から積極的に読もうとする姿勢が見られるようになった。運営委員でもあり、学習者でもある渡辺さんからは「勉強になった。読めるようになった。」

今までは、おばあちゃん(義母)に読んでもらって、理解していたが、自分で読めるようになった。うれしい」という感想があった。

- 参加者は皆とても意欲的で、いろいろな国の母親同士が、子どもの様子などを話し合ったり、情報交換をするなど、居場所としての役割も果たせた。
- 地域住民の見学などがあり、日本語教室の必要性を知ってもらうことができた。

(9) 今後の改善点について

- 今回のクラスは初級を終了したくらいのレベルの人が多く、学習内容も N3～N2 レベルであったため、日本語が初級前半以下の人は参加しにくくなってしまった。いろいろなレベルの人が一緒に学べるようなやり方を考える必要がある。
- 家庭や職場の状況、交通手段により、参加しにくい人が出てきた。学習者が広範囲に散住しているので、「豊岡だけでなく、他の地域でもやってほしい」という声もあった。開催日時、レベル、場所など、参加者のニーズにどのように応えていけるのかが、今後の課題である。ボランティアを増やして、個々に寄り添って対応していくことも考えたい。

取組2：あいうえお子育てネットの推進

(1) 体制整備に向けた取組の目標

- ・様々な立場から見た現場の問題を共有し、日本語学習の支援の体制を整える。子育てに必要な資料を多言語化し、必要なところに配布する。

(2) 取組内容

- ・支援者、行政、教育委員会の代表者が集まって、今後の支援について協議。
- ・病院のパンフレットや学校案内、乳児検診の資料などを多言語化。
- ・妊娠出産から支援をするために、母子手帳交付時や乳児健診などの機会を利用して、あいうえお子育てネットのネットワーク構築。
- ・子育てに関する悩みや必要な支援などについて、聞き取り調査し、現状把握。
- ・外国にルーツを持つ子どもたちの現状や保育の現場で苦労していること、母親たちが実際にどのような支援を必要としているのかなど、様々な立場から意見を出し合い、具体的な支援のあり方を協議。

(3) 対象者

- ・支援者

(4) 参加者の総数 16 人 延べ人数ではなく、参加した人数を記載

そのうちの日本語学習者数 8 人

【出身・国籍別内訳】

中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	インドネシア	タイ	ペルー	フィリピン	日本
3			2					1	8

その他の国籍と人数：アメリカ 2

(5) 開催時間数(回数)

- ・ 6 時間 (2 時間 × 全 3 回)

(6) 活動の内容

回	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成 27 年 6 月 23 日(日) 13:30-15:30	2 時間	あいうえお事務所	6 人	子育てネットの推進	・翻訳資料及び作成について ・子育てネットのチラシ ・意見交換		
2	平成 27 年 9 月 29 日(日) 13:30-15:30	2 時間	あいうえお事務所	5 人	子育てネットの推進	・各取組みの進捗状況 ・多文化共生セミナーについて ・意見交換		
3	平成 28 年 1 月 12 日(火) 13:30-15:30	2 時間	あいうえお事務所	7 人	子育てネットの推進	・取組み 1、2、4 の進捗状況について ・就学前説明会資料等について		

(7) 特徴的な活動風景(2～3回分)

取組事例

【第3回 子育てネット推進の会議 平成 28 年 1 月 12 日】

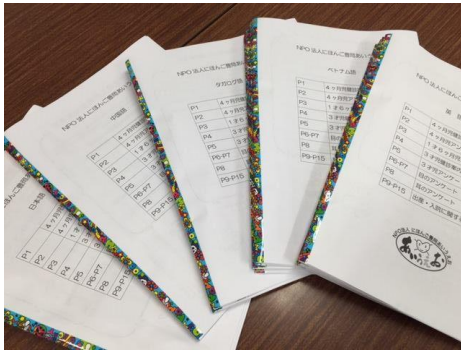
- 病院と乳幼児健診の翻訳資料を配布し、今後の活用方法について意見交換。豊岡市で記者発表。兵庫県下の健康増進課に周知。
- 就学前説明会の資料と内容について、意見交換。
- 来年度の事業内容について説明、連携依頼。



取組事例

【翻訳資料の作成と記者発表】

子育てネット推進会議でアンケートを取り、翻訳する資料の選別。
 豊岡病院、健康増進課と内容についての打合せ。
 英語、中国語、タガログ語、ベトナム語の担当者に翻訳依頼。
 構成やレイアウトの訂正、確認。
 複数の人によるチェック。
 最終確認後、コピー、製本。



(8) 目標の達成状況・成果

- 子育てネットの推進会議のメンバーは、こども育成課、こども教育課、健康増進課、多文化共生サポーター、秘書広報課で構成されており、子育てネットの推進会議を通して、横のつながりができた。すべての取組みについて内容を協議し、関係機関への周知や必要な情報、器材の提供など、協力してもらえることができた。更に当法人の日本語教室に通う外国人の実情や困っている内容を共有することで、市からは「在住外国人に対する認識が足りなかった」という声があった。

取組み1では、外国人の母親にとって、学校からの手紙や配布物を理解するのが、いかに難しいかということ、いろいろな事例をあげて紹介した。また、推進会議のメンバーでもある外国人の母親に、どんな問題があったのかなどを話してもらった。あいうえおに母親クラスがあることを教育委員会を通じ、各学校に案内してもらい、該当者があれば、連絡してもらえるようにした。

取組み3では、日本語の支援者はもちろん、市の職員にとっても多文化共生の知識が必要であることを理解してもらい、市の職員研修として協働で開催することができた。

取組み4では、子どもの学校生活が順調に行くためには、子どもの支援だけでなく、親への支援も大切であることを理解してもらった。呼寄せの子ども保護者だけでなく、日本生まれの子どもであっても、親が外国人である場合は、支援が必要であることを説明した。

- 子育てに必要な資料の多言語化では、豊岡病院の産婦人科に協力してもらうことができた。出産・入院に関する資料を翻訳するにあたり、現場の看護師と内容を検討する機会が持てた。外国人妊婦の様子や病院での受け入れ態勢などについて、現場の話を聞いたり、こちらの支援の内容についても話し、お互いに情報が交換できた。今後も、日本語理解が不十分な妊婦がいれば、双方協力の下、支援にあたる。
- 豊岡市健康増進課と連携して、乳幼児健診のアンケートや案内などを翻訳した。内容を検討する際、現場の保健師から外国人妊婦の情報を得たり、現場で困っていること等を聞くことができた。今後、これらの翻訳資料は、対象となる外国人の母親に対して使用されることになっている。保健師から「今までは外国の人が来られるときは、翻訳アプリを使うなど色々大変でプレッシャーがあったが、これからは安心して対応できる。肩の荷が下りた」と大変喜んでもらった。
- 豊岡市で記者発表をした結果、新聞・ラジオで取り上げてもらうことができた。健康増進課を通じて、兵庫県下の市町に翻訳資料の案内をしてもらったところ、4市(香美町、明石市、川西市、加古川市)から利用したいという問い合わせがあった。また、その他には、ベトナム経済新聞から掲載の申し出があった。
- 外国人だけでなく、地域住民にも子育てネットの存在を知ってもらうために、豊岡市内の医院にチラシとポスターの掲示を依頼し、協力してもらうことができた。

(9) 今後の改善点について

- ・定期的に話し合いの場を持てたことは大変よかったが、運営会議を含めると、1年間に6回となり、会議の日程を調整するのが難しかった。欠席の場合は、会議録を持参し、説明したり、電話や訪問で個々に相談したりしたが、今後は、この会議の必要性を理解してもらい、出席もらえるよう働きかけていきたい。
- ・翻訳資料は、内容も枚数も増えてしまい、翻訳・編集作業等に予想以上に経費と労力を要した。今回の結果を踏まえ、今後の計画に留意する必要がある。
- ・兵庫県下の市町から問い合わせがあり、どこも同じような悩みを抱えている状況がよくわかった。豊岡市だけでなく、広く使ってもらえるように、編集しやすい形でのデータ提供を検討したい。

取組3: 多文化共生のまちづくりのためのセミナー

(1) 体制整備に向けた取組の目標

- ・支援者、地域の住民、また、行政の職員が、多文化共生や日本語教育について理解を深める機会を提供する。地域の人や支援者が、在住外国人の現状を把握し、日ごろから見守っていけるような支援体制を作る。

(2) 取組内容

大阪ボランティア協会から講師を招き、「日本語でつたえるコツ」ワークショップを開催した。子育ての現場に携わるひとを中心に、文化の違いから起こりやすい問題の事例ややさしい日本語を使ったコミュニケーションの取り方等を学んだ。

多文化共生センター大阪の代表理事・田村太郎氏を招き、「外国人とともに築く豊岡の未来～地域創生と多文化共生の視点から～」というテーマでセミナーを開催した。

(3) 対象者

- ・日本語の支援者、地域のひと、行政職員

(4) 参加者の総数 30 人 延べ人数ではなく、参加した人数を記載

そのうちの日本語学習者数 1 人

【出身・国籍別内訳】

中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	インドネシア	タイ	ペルー	フィリピン	日本
								1	

その他の国籍と人数: アメリカ

参加者の総数 60 人 延べ人数ではなく、参加した人数を記載

そのうちの日本語学習者数 3 人

【出身・国籍別内訳】

中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	インドネシア	タイ	ペルー	フィリピン	日本
								1	

その他の国籍と人数: アメリカ 2

(5) 開催時間数(回数)

- ・ 6 時間 (3 時間 × 全 2 回)

(6) 活動の内容

回	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成 27 年 8 月 24 日(火) 13:30-16:30	3 時間	市民プラザ	30 人	「日本語でつたえるコツ」ワークショップ	やさしい日本語でつたえるコツについて学ぶ	丸山俊夫 藤原麻佐代	勝間良枝 卯野敦子 菅村規子
2	平成 27 年 11 月 10 日(火) 13:30-16:30	3 時間	豊岡市役所 大会議室	60 人	多文化共生セミナー	「外国人住民と共に築く豊岡の未来～地方創生と多文化共生の視点から～」	田村太郎	勝間良枝 卯野敦子 立川旬司

(7) 特徴的な活動風景

【日本語でつたえるコツワークショップ 平成 27 年 8 月 24 日】

実際にあったトラブルの事例などを紹介していただいた。その後、グループに分かれて意見交換をした。保健師や教師など、すでに支援に関わっている人の参加も多く、現状や問題点などを話し、情報を共有した。最後にワークショップとして、実際の手紙や文章を「やさしい日本語」に直す練習を行った。



ください。

【多文化共生セミナー 平成 27 年 11 月 10 日】

多文化共生の知識についての講演を聞いた。その後、グループに分かれ、自分たちの周りにある多文化共生の事例や問題点、解決策など、意見交換をした。最後に、グループごとの意見をまとめ、発表し、参加者全員が情報を共有した。



ださい。

(8)目標の達成状況・成果

1.「日本語でつたえるコツ」ワークショップ

- 子育ての現場を中心に、文化の違いから起こりやすい問題の事例や、やさしい日本語を使ったコミュニケーションの取り方などを学んだ。保健師や学校関係者などの参加も多く、現状や問題点など、情報を共有することができた。
- 講座終了後のアンケートでは、以下のような声が寄せられた。
 - ・これから取り組むべきことがわかってきた。
 - ・外国の方と関わることの困り感を共有できてよかった。
 - ・言葉だけでなく、文化やそのひとを理解することも大切だとわかった。
 - ・普段の会話の中でも役に立つワークショップだった。
- 「日本語でつたえるコツを活かしたコミュニケーション力をもっと身に付けたいか」という質問には、全員が「機会があれば身に付けたい」と回答し、「同じワークショップをまたやってほしい」という声もあった。この講座をきっかけに、やさしい日本語を使ったコミュニケーションを仕事や普段の生活にも取り入れようという意識が芽生えた。今後、支援現場でのコミュニケーションがよりスムーズになることが期待される。

2.多文化共生セミナー

- 豊岡市の職員研修を兼ねて開催することができ、様々な部署の職員が参加した。また、学校関係や市議会議員、日本語の支援者や一般の方の参加もあり、幅広い分野の方々に多文化共生の知識や必要性を理解してもらうことができた。

- 講座終了後のアンケートの結果は、以下のとおり。

1 セミナー内容について						
60人中36人						
理解度	よく分かった	35	どちらともいえない	1	分からなかった	0
有益度	参考になる	34	どちらともいえない	2	参考にならない	0

- 「今回の研修で、感じたことや印象に残ったこと」という質問に対して、下のような意見があった。
 - ・多文化共生、ごく一部の人しか理解されていません。多分、市役所内でも、行政そして一般市民に理解してもらえよう、もっと情報発信の努力が必要。その意味で、最後の多文化共生、地域づくりはとても参考になると思います。
 - ・「多文化共生」という言葉の本当の意味が分かった気がします。今までは、外国人住民のためだと思っていましたが、地域の人、自分のためでもあるのだと感ずることができました。
 - ・地域に外国人がとけこめるような機会が増えるといいと思うのだが、市役所だけでなく、会社の人の意識がとても大切だと思いました。コミュニケーション、外国人を受け入れる心持も育てていくといいと思いました。
 - ・学校で働いているので、多文化共生教育については勉強していたが、こうして、全体について教えていただいたことで、教育以前のバックグラウンドが見えてきた。自分にできる活動をはじめてみようと思った。
 - ・外国人住民が市内にもたくさん住んでおられるが、自治体としての対応もまだまだ足りていないように思う(情報発信など)。外国人住民に対して、自治体としてどう関わるべきか、外国人にも日本人にも変わらないサービスの提供ができるような取り組みが必要だと感じました。
 - ・外国人との共生社会づくりに自治体が果たす役割が大きいことが理解できた。

- 豊岡市役所各課に、当法人の活動について知ってもらうことができ、子育て以外にも、在住外国人の力を借りたいといった波及効果があった。(インバウンドや定住者増加の取組み、ゴミ収集に関するお知らせの翻訳など)今後、地域で外国人が活躍できる体制づくりに繋げていきたい。

(9) 今後の改善点について

- どちらの講座も内容が充実しており、高評価を得たので、さらに知識を深めてもらえる機会を継続して提供していきたい。
- 市と共催にすることで、市職員が大勢参加できてよかったが、更に多くの地域住民にも参加してもらえるよう、日程や場所の周知の方法を検討する必要がある。

取組4: 外国にルーツを持つ保護者のための就学前説明会

(1) 体制整備に向けた取組の目標

教育委員会や学校と必要な情報を交換し、保護者に対する日本語学習支援を行えるような体制づくりを行うとともに、問題が起きたときには、教育現場と連携して支援にあたる。

(2) 取組内容

就学年齢の子どもをもつ保護者のための就学前説明会を開催し、日本の学校についての基本的な知識を得てもらった(入学前の準備、持ち物、給食、登下校など)。日本語がまだ十分でない保護者のために、翻訳資料を準備し、通訳をつけた。同時に、子どもの日本語力もチェックした。

(3) 対象者

・外国にルーツをもつ保護者

(4) 参加者の総数 18 人 延べ人数ではなく、参加した人数を記載

そのうちの日本語学習者数 9 人

【出身・国籍別内訳】

中国	韓国	ブラジル	ベトナム	ネパール	インドネシア	タイ	ペルー	フィリピン	日本
			6					3	9

その他の国籍と人数:

(5) 開催時間数(回数)

・ 2 時間 (2 時間 × 全 1 回)

(6) 活動の内容

回	開講日時	時間数	場所	受講者数	取組のテーマ	授業概要	指導者名	補助者名
1	平成 27 年 2 月 7 日(日) 13:30-15:30	2 時間	あいうえお 事務所	18 人	外国にルーツ をもつ保護者 のための就学 前説明会	スライドを見ながら、日本の学校についての基礎知識について学ぶ。実物を見ながら、入学時に必要な持ち物や教育用品について学ぶ	菅村規子	渡辺スーザン 勝間良枝 卯野敦子 小松優香 河本美代子

(7) 特徴的な活動風景

【平成 28 年 2 月 7 日】

公益財団法人京都府国際センターが作成した「日本の学校生活ガイダンス」を使い、豊岡市の学校について説明した。参加者には、それぞれの母語の翻訳を配布し、やさしい日本語と照らし合わせながら見てもらった。わからない時には、その都度、質問を受け付けた。

また、豊岡市の外国人のためのリビングガイド(教育に関する部分)の翻訳版を作成、配布し、やさしい日本語で説明した。最後に、学校で使うもの(教育用品)について、実物を見せながら、説明した。参加者に実際に手に取ってもらい、わからないものについて質問してもらった。



(8) 目標の達成状況・成果

- 豊岡市教育委員会と連携し、保・幼・こども園に説明会のチラシを送付。対象となる保護者に案内してもらった。
- 日本の学校の1年の行事や1日のおおまかなスケジュールなどについて学んだ。入学時に必要な持ち物などについては、写真だけではわかりにくいので、翻訳資料と実物を見せながら、具体的に説明した。例)「体操服はこれで、ゼッケンはこういう風に付けます」「書道セットは、〇〇のお店で買えて、〇〇円くらいです」等。参加者からは、「自分の国の学校と全然違うので驚いた」「知らないことばかりだった」「よくわかってよかった」という声が多くあった。
- 豊岡市秘書広報課に外国人のための「豊岡市リビングガイド(英語版)」の資料提供をしてもらい、教育に関する部分を中国語、ベトナム語、タガログ語に翻訳した。日本語の原本にもふりがなを付けたことで「子どもの通う学校の名前と住所がようやくわかった」という声があった。
- 主な対象者は、就学前の子どもを持つ母親であるが、日本の学校について学びたいという希望があれば、誰でも参加できるようにした。乳幼児を持つ母親や既に就学している子どもを持つ母親の参加があった。母親と一緒に参加した子どもの中には、年齢相応の知識や言語能力が不足していると感じられる子どももあり、今後の支援の必要性を感じた。
- 平成 28 年度に就学する子どもを持つ母親は、「何をどうしたらいいのかわからない。入学説明会に参加しても日本語がよくわからない」と困っていた。そこで、外国人の母親の事情を豊岡市教育委員会を通じて伝え、入学先の小学校の説明会資料を事前に提供してもらった。
- 入学説明会の資料の中の日本語で理解が難しい「こどもが感じる困り感」を理解するためのチェックリストを翻訳し、母親に母語で理解してもらった。

- 豊岡市教育委員会の就学担当者の見学があり、日本生まれの子どもは、会話もスムーズで、一見問題がないように見えるが、実際には多くの問題を抱えており、母親と共に支援が必要だということを認識してもらった。

(9) 今後の改善点について

- 今回の説明会で使用した資料は、京都の団体によって作成されたものだったため、但馬地域の学校の内容に合うかどうかを確認する必要があった。
- 最近では、呼び寄せの子どもも増えていることから、今後はそれぞれの地域の学校に合う内容の資料を作成し、子どもの入学や編入を希望する母
- 学校によって違いがあるが、共通することも多いので、共通している内容に関して、外国人向けにまとめ資料が作成できないか検討していきたい。
- 個人情報の問題もあるが、対象となる母親に当法人から直接案内することができないので、就学前説明会に参加できなかったひとのことが把握できない。問題を事前に防ぐためにも、必要な情報が必要な人に伝わるような体制の構築を働きかけていきたい。

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的・目標

- ・ 豊岡市及び但馬で子育てをしている外国にルーツを持つ母親と子どもの日本語教育を支援し、行政や地域と連携して支える体制を作る。

取組み 1: 日本の学校生活において、親子間や先生、まわりの保護者などとのコミュニケーションがスムーズにいくようにする。

取組み 2: 支援者と母親をつなぐネットワークを作る。

取組み 3: 地域のひとや支援者側に多文化共生についての理解を深めてもらい、よりよい関係を作る。

取組み 4: 母親と子どもの入学後の学校生活をスムーズにし、文化の違いによる問題を防ぐ。

(2) 目的・目標の達成状況・事業の成果

今回の取組みでは、子育てをしている母親と子どもを、小さいうちから長期的に継続して支援をしていける体制づくりを目標にした。行政や公的機関だけでは、子どもの成長とともに、担当の課が変わり、担当者も変わることで支援が途切れがちになるが、当法人の子育てネットと連携することで、支援者と母親をつなぐことができるようになった。また、当法人と学校やこども園、病院などその他の機関とのやり取りもスムーズにいくようになった。

民間の支援団体(当法人)と、行政で実際に外国人に関わっている担当課、そして、実際に子育てをしている外国人の母親が、それぞれの抱える問題や日本語の支援のあり方について定期的に集まり、意見交換する機会がもて、お互いの理解がとても深まった。

この取組みにより、外国人の母親と関わる課が、それぞれ横のつながりを持つことができた。現時点での問題を共有することで、今後起こりうる問題の傾向やその対策なども予測することができ、継続した支援が期待できる。

特に子育てネットの運営委員会に、外国人相談窓口を常時開設し、在住外国人の支援に当たっている豊

岡市秘書広報課がオブザーバーとして参加してくれた。オブザーバーとしての参加であったが、結果的には、豊岡市秘書広報課から貴重な意見や協力を得ることができた。それにより、子育てネットのネットワークがより充実したものになったことが大きな成果だった。

最後の運営会議では、「行政として認識が不足していた。今回の取組みの中で浮かび上がってきた問題がたくさんあるので、活動人員や予算面でも民間の団体や地域と協力して関わっていけるように考えている」という意見をいただいた。まだまだ解決しなければならない課題はたくさんあるが、次年度以降も同じメンバーで協力して取組むことが決まっているので、継続してよりよい支援活動ができるようにしていきたい。

(3) 地域における事業の効果、成果

但馬地域における在住外国人への支援体制はまだまだ十分といえず、なかなか支援者が勉強したり、情報を得たりする機会が少ない。しかし、今回の事業全体を通して、豊岡市だけでなく、朝来市、養父市、香美町などからも日本語教室の見学やセミナーの参加があり、支援者同士のネットワークづくりにも役立てることができた。

また、子育てネットについて新聞やインターネットで紹介してもらったり、地域の福祉まつりで活動発表をしたりする機会もあり、地域の人に在住外国人への理解と支援を呼びかけることができた。興味を持ってくれた人の中には、ボランティアとして参加を申し出てくれる人があり、地域の受け入れ体制が少しずつではあるが前進しているように思われる。

今回の取組みの中でも特に、地方創生をテーマとした多文化共生セミナーは、豊岡市と共催で開催し、多数の市職員に参加してもらい、多文化共生の必要性を感じてもらうことができた。実際に、セミナー受講後には、外国人生活相談窓口などでやさしい日本語を使ってみてはどうかということが検討されている。

さらに、来年度の豊岡市の基本構想審議会や図書館未来プラン検討委員、英語遊び保育プログラム策定委員に、当法人が委嘱された。これらは、豊岡市がこれからのまちづくりに外国人の存在を認識し始めたことの表れではないかと感じている。これらの機会を活かして、意見を述べていき、日本語教育をはじめとする外国人支援をより充実したものにするための体制整備に努めていきたい。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果

今回の取組みでは、学校にも、いろいろと協力してもらうことができた。例えば、就学前説明会を開催するに当たり、実際に使用される入学説明会資料を事前に提供してもらったり、母親クラスに参加した人の呼び寄せの子ども日本語指導の際に、放課後の教室を利用させてもらうなど、当法人、教育委員会、学校が協力できるようになった。

豊岡病院から提供を受けた出産・入院に関する資料を翻訳することにより、地域在住の外国人が安心して出産できるようになった。また、受入れ側の病院の外国人に対する対応がスムーズになることが期待できる。

呼び寄せの子どもの支援をきっかけに、豊岡市こども支援センターに、子育てネットの活動を知ってもらうことができた。今後は、外国にルーツをもつ子どもが、ひきこもりや不登校になるケースも考えられるので、協力して支援ができる体制整備につなげていきたい。

(5) 事業実施に当たっての周知・広報と、事業成果の地域への発信等について

- 豊岡市市広報、フェイスブック、ホームページ、新聞などで周知した。
- 今回すべての取組みにおいて、保育園、こども園、幼稚園、小学校には教育委員会を通じて案内をしてもらうことができた。子育てネットのポスターの掲示、また、該当する母親がいればチラシなどを配布してもらえよう依頼した。当法人の会員及び近隣の日本語教室にも、案内を送付した。

- 取組み2で作成した翻訳資料については、新聞・ラジオでも取り上げてもらい、地域の人に広く知ってもらえるように努めた。兵庫県下の市町からも既に4件の問い合わせがあった。今後、乳幼児健診では、外国人の母親に対して、資料を送る際に、日本語と該当する言語の資料を同封してもらうことになっている。豊岡病院でも、出産のため入院する母親に対して、該当する言語の資料を利用してもらう予定である。
- 子育てネットのポスターとチラシを、市内の各医院に送付し、掲示・設置をお願いした。特に、小児科などには直接持って行き、該当者にはチラシを渡してもらえよう、趣旨を説明し、協力をお願いした。

(6) 改善点、今後の課題について

今回の取組みの中で、様々な立場の人に、在住外国人の現状を話す機会があった。その多くが「全然知らなかった」「いい勉強になった」と言っていた。それは言い換えれば、地域の人にはもちろん、行政サイドにもこれからまだまだ認識してもらう必要があるということだ。

問題があり、何か支援が必要になったときは、それぞれの現場で個別に対応することが多く、「どうしていいかわからず困っている」といった声も多く聞かれた。

また、但馬地域は広く、交通も不便なので、「参加したいけど、できない」という声が多かった。都市部と違い、外国人が散住している地方では、在住外国人はもちろん、支援者を取り巻く環境にも差があり、事業の開催場所や日時など、それぞれの実情に合わせるのが難しい。できるだけ多くの人に支援を提供するためには、拠点となる場を増やし、ボランティアを育成することが課題のひとつである。

子育てネットが目標とするネットワークづくりにおいて、どこにどんな人がいて、どんな支援が必要なのかを把握することが非常に重要であるが、個人情報の問題もあり、把握することが難しい。必要な支援が、必要な人に届くような体制も、今後必要となってくるのではないかと思う。

今後も安定した支援を続けていくために、当法人は、在住外国人支援対策に向けた人材育成及び予算化において、努力を続けて行くとともに、行政の関わりが非常に重要であることを訴えていく。また、今後も民間、行政、地域の横のつながりを広げていき、より良い支援体制を構築することを目指していく。

(7) その他参考資料

【地域日本語教育実践プログラム(B)】

○日本語教育の実施

全受講者数	10	人
アンケート回答数	10	件
アンケート回答率	100	%

(1) このプログラムを受けて、あなたの日本語は前より上手になったと思いますか。

①上手になったと思う	7
②まあまあ上手になったと思う	1
③変わらない	1
④上手になっていないと思う	1

(2) このプログラムを受ける前よりも、日本での生活ができるようになったと思いますか。

①できるようになったと思う	9
②少しできるようになったと思う	1
③変わらない	
④できるようになっていない	

(3) このプログラムの内容に満足していますか。

①満足している	9
②まあまあ満足している	1
③あまり満足していない	
④満足していない	

(4) もっと日本語を勉強したいと思いますか。

①思う	10
②思わない	

○地域における日本語教育の体制整備について

(7) 本事業の実施により、地域の「生活者としての外国人」に対する日本語教育の体制整備が進みましたか。

①かなり進んだ	
②まあまあ進んだ	
③少し進んだ	
④あまり進まなかった	
⑤全然進まなかった	

(8) 本事業の実施によって関係団体との連携が進みましたか。

①かなり進んだ	
②まあまあ進んだ	
③少し進んだ	
④あまり進まなかった	
⑤全然進まなかった	

(9) 本事業の実施によって地域住民の日本語教育に対する理解は深まりましたか。

①深まった	
②まあまあ深まった	
③あまり深まらなかった	
④深まらなかった	

平成27年度文化庁委託事業

日本語で つたえるコッ ワークショップ

外国人保護者と
子育て支援に関わる人との
より良いコミュニケーションのために



講師：社会福祉法人 大阪ボランティア協会
「日本語でつたえるコッ」広げる委員会委員

参

加

者

募

集

(と き) 8/24 (月) 午後1時30分～午後4時30分
(と ころ) 市民プラザ活動室CD (アイティ7階)
(参加費) 無料 先着40名 ※申込み要

＜問合せ・申込み＞

主催：NPO法人 にほんご豊岡あいうえお

住所：〒668-0055

豊岡市昭和町2-50河本ビル102

TEL & FAX 0796-20-4037



平成27年度文化庁「生活者としての外国人」のための
日本語教育事業地域日本語教育実践プログラムB



講師 田村 太郎 氏

NPO多文化共生センター大阪代表理事。阪神淡路大震災で被災した外国人への情報提供活動を機に「多文化共生センター」を設立。東日本大震災直後には、内閣官房企画官に就任。現在は、復興庁復興推進参与や大学の非常勤講師も務める。

多文化共生セミナー 外国人住民とともに 築く豊岡の未来

～地方創生と多文化共生の視点から～

今回のセミナーでは、地域における多文化共生の必要性について理解いただき、これからどのように取り組んでいけばいいのかを共に考えることを目的としています。

現在、豊岡市には500人を超える外国人の方が結婚、呼寄せ、就労など様々な理由で暮らしておられ、日々の生活の中で、私たちは異なる文化に触れる機会が増えています。

また、少子高齢化やコミュニティの弱体化が危ぶまれる中、外国人住民は地域を支える貴重な人材でもあります。

国籍に関係なく、同じ地域の住民として、日本人も外国人もお互いに力を発揮できる社会を作るには、どうしたらいいのでしょうか。外国人とともに地域の未来を築いていく多文化共生のまちづくりとは何かを一緒に考えてみませんか。

多文化共生 国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと(総務省「多文化共生の推進に関する研究会報告書」平成18年3月)

参加費無料

平成27年

日時

11月10日(火)

午後1時30分

午後4時30分

場所

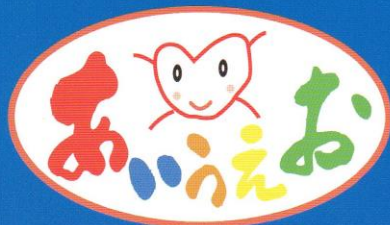
豊岡市役所 2階
大会議室

共催

豊岡市
NPO法人 にほんご豊岡あいうえお

申込み 電話、ファクス、メールでお申し込みください。

締切り 11月4日(水)



申込み・問合せ

NPO法人 にほんご豊岡あいうえお

〒668-0055 豊岡市昭和町2-50河本ビル102
TEL/FAX (0796) 20-4037 携帯電話 (080) 9478-5525
FB; Nihongo Toyooka AIUEO
E-MAIL; aiueo_nihongo_toyooka@nike.eonet.ne.jp
URL; http://www.eonet.ne.jp/~aiueo-nihongo



いろいろな国のお母さんたちのネットワークです。必要な情報を届けます。
 みんなで、楽しく、日本語を勉強したり、おしゃべりしたりしましょう♪
 皆さん、来てください。

Mạng lưới Internet dành cho các bà mẹ tất cả các quốc gia. Mang đến cho mọi người những thông tin quan trọng. Mọi người hãy cùng nhau vui vẻ tham gia học tập, nói chuyện! Chào đón tất cả mọi người đến với chúng tôi!!!!

We have a network for mothers from many different countries. Why don't we study together and enjoy chatting? We would like to send you the necessary information. Please join us and have an enjoyable time.

Para sa ibat-ibang bansa na mga magulang, lalo na po! sa mga Nanay or Mommy! na Network po! Pinaka importante na impormasyon na balita ay inyong maaasahan. Tayo na po! Mag aral ng nihonggo at Magkwentuhan ng masasaya. Kayo po! ay aming Iniimbitahan nadumalo at Sumali sa aming programa. Maraming Salamat po!

这是一个跨越国界的妈妈们的网络交流平台。给大家提供所需的信息。欢迎大家来这里愉快地交流并学习日语。



NPO法人にほんご豊岡あいうえお
 〒668-0055 豊岡市昭和町2-50河本ビル102
 TEL/FAX: (0796) 20-4037
 E-mail: aiueo_nihongo_toyooka@nike.eonet.ne.jp
 HP: <http://www.eonet.ne.jp/~aiueo-nihongo>
 Facebook: Nihongo Toyooka AIUEO



日本の学校ってどんなところ？



日本の学校の基礎知識、入学するときに準備するものについて勉強します。

英語 We will teach you basic knowledge of the Japanese educational system and the items to prepare when your child/children enter elementary school.

中国語 学习关于入学时需要准备的资料，和日本学校的基础知识。

ベトナム語 Chúng ta sẽ học về những kiến thức cơ bản trong trường học của Nhật Bản và những vật dụng cần chuẩn bị cho việc nhập học.

通訳と翻訳資料を準備します。電話、FAX、メールなどで、申し込みをしてください。

英語 There will be an interpreter and translated materials available. If you want to attend this meeting, please apply by telephone, FAX, or email.

中国語 有准备书面翻译和口头翻译，申请时，可以使用电话、传真、电子邮件。

ベトナム語 Nhà trường sẽ chuẩn bị tài liệu cũng như người phiên dịch. Do vậy hãy đăng ký trước các thông tin như: số điện thoại, số fax, địa chỉ mail..vv.

子どもと一緒に参加できます。小さい子どもをつれて来てもいいです。

英語 Your children are welcome to attend, too. Please bring them, if you like.

中国語 可以和孩子一起参加，也可以带小孩子一起来。

ベトナム語 Con bạn có thể tham gia cùng với bạn. Nếu muốn bạn hãy dẫn theo con nhỏ cùng đến.



と き：平成28（2016）年2月7日（日曜日）

午後1時30分～3時30分

ところ：NPO法人にほんご豊岡あいうえお事務所

（豊岡市昭和町2-50河本ビル 102）

でんわ/FAX：0796-20-4037

けいたい：080-9478-5525

メール：aiueo_nihongo_toyooka@softbank.ne.jp

ホームページ・フェイスブックもあります。

見てね！



がいく ち かあ
外国にルーツを持つお母さんのための
にほんごきょうしつ
日本語教室

とき：毎週水曜日 午前10時～12時 (祝日はやすみです)

ところ：あいうえお事務所 (豊岡市昭和町2-50河本ビル 102)

参加費：1000円 (会員500円) / 1ヵ月 (約4回)



れんらくちょう か かた てがみ よ かた こそだ やく た にほんご ちゅうしん
連絡帳の書き方、手紙の読み方など、子育てに役に立つ日本語を中心に
たの べんきょう
楽しく勉強します。いろいろな国のお母さんと、話しましょう。

ちい こ
小さい子どももいっしょに参加できます。ぜひ来てください。

NPO法人 にほんご豊岡あいうえお

でんわ：080-9478-5525

メール：aieo_nihongo_toyooka@softbank.ne.jp

ホームページ・フェイスブックもあります。見てね！

でんわ
電話してね♪



(第3種郵便物認可)
新 聞 2015



外国人との共生について「できることは多い」と話す田村太郎さん＝豊岡市本庁舎

外国人と共生のまちづくり

違い受け入れ 意識の変化を

豊岡 NPO 代表が講演

在住外国人の生活支援「人」にほん豊岡あい
援に取り組みNPO法「うえお」と市の共催。

田村さんは阪神・淡路大震災で被災した外国人に情報提供を行うために同センターをつくり、東日本大震災後には内閣官房企画官として被災地を支援した。高齢化を乗り越えるため、1970年代の北欧の事例として「介護や子育てをサービスとして提供し、担い手に移民の力を借りた」と紹介。外国人受け入れには「子どもの小学校入学や介護保険料支払いなどを日本語以外で説明しないといけない」「違いを受け入れて変化することが共生社会」など、行政による支援や意識の変化の必要性を説いた。

3版 ▲ 2016年(平成28年)1月29日 金曜日
但馬 兵庫 2016年(平成28年)1月29日(金)

健診案内 4カ国訳

乳幼児持つ外国人支援

豊岡のNPO

但馬地域に住む外国人向け健診案内を英語、中国語、ベトナム語、タガログ語に訳した。公立豊岡病院の乳幼児健診案内を英語と中国語に訳した。公立豊岡病院の乳幼児健診案内を英語と中国語に訳した。公立豊岡病院の乳幼児健診案内を英語と中国語に訳した。

意気放つ儀式

健康応援します
宝塚リハビリテーション病院
天然温泉
www.takara-reha.com

乳幼児健診などを4言語でまとめた冊子＝豊岡市校所で

2016年(平成28年)2月4日
但馬在住 外国人の母支援

外国の子ども就学説明会

あす豊岡 英・中・ベトナム語通訳

在住外国人を支援するNPO法人「にほん豊岡あい」は、子どもを育てる。英語と中国語、ベトナム語の通訳があり、翻訳し

4カ国訳

乳幼児健診、出産・入院

乳幼児健診案内を英語と中国語に訳した。公立豊岡病院の乳幼児健診案内を英語と中国語に訳した。公立豊岡病院の乳幼児健診案内を英語と中国語に訳した。